

令和5年7月25日
国土交通省関東地方整備局
総務部

関東地方整備局入札監視委員会 審議概要 (第二部会 第1回定例会議)

関東地方整備局入札監視委員会第二部会の第1回定例会議が、令和5年6月28日、横浜市内で開催され、工事2件、建設コンサルタント業務等3件、物品・役務の提供等1件の入札結果が審議されました。

審議内容は別紙のとおりです。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ 神奈川建設記者会 横浜海事記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 総務部

電話：045-211-7413 (代表)

メールアドレス：pa.ktr-keichou@mlit.go.jp

契約管理官 田口 由美子 (たぐち ゆみこ) (内線：5880)

経理調達課 課長 野路 靖雄 (のじ やすお) (内線：5870)

品質確保室 室長 廣瀬 好明 (ひろせ よしあき) (内線：5797)

令和5年度

関東地方整備局 入札監視委員会第二部会第1回定例会議 審議概要

開催日及び開催場所	令和5年6月28日(水) [WEB会議] 関東地方整備局 131会議室	
委員	渡邊 健治(東京大学大学院 教授) 土屋 志穂(拓殖大学 准教授) 石坂 元一(中央大学 教授)	
審議対象期間	令和4年10月1日~令和5年3月31日	
審議案件	総件数	6件
工事 一般競争入札方式		2件
	政府調達	1件
	政府調達以外	1件
建設コンサルタント業務等		3件
物品・役務		1件
委員からの意見・質問、 それに対する説明・回答等	意見・質問	説明・回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし	

○ 問い合わせ先

横浜市中区北仲通5丁目57番地 横浜第二合同庁舎

電話 045-211-7413 (経理調達課)

国土交通省関東地方整備局 入札監視委員会第二部会事務局

契約管理官 田口 由美子

経理調達課長 野路 靖雄

品質確保室長 廣瀬 好明

意見・質問	説明・回答
<p>【報告事項】</p> <p>(1) 入札・契約手続の運用状況等報告 (2) 指名停止等の運用状況等報告 (3) 談合情報等の対応状況報告 (4) 不調・不落の発生状況報告 (5) 事務所毎の平均落札率の推移</p> <p>(1)～(5) 報告内容に対する意見・質問なし</p>	
<p>【事案1】</p> <p>一般競争入札方式（政府調達・港湾土木工事） 「令和4年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)南側基礎等工事」</p> <p>・入札価格が、全者ほぼ横並びであるが、応札者は予定価格の想定ができるものなのか。</p> <p>・技術提案における「工事全般の施工計画」の評価では、どのような提案部分に差がついたのか、可能な範囲で確認したい。</p> <p>・先に施工した地盤改良工事と、その工事で発生した盛り上がり土の撤去を別件発注（本工事）とした理由について、同一工事で実施した方が効率的に安価に施工できると思うが、契約を別にした理由はなにか。</p> <p>・今までに同種の工事を続けられていると思うが、毎回、別件発注とするのが一般的であり、また、安価、効率的な手法と考えてよろしいか。</p>	<p>・応札者が見積もりを行うに当たり、適正かつ迅速になされることを目的として、発注者側の積算の考え方を示した「見積参考資料」を入札前に開示しています。また、労務単価、船舶・機械損料、材料単価等についても公表されていますので、応札者がこれらの情報を元に見積もりを行うことにより、予定価格を類推することは可能と考えられます。</p> <p>・本工事では-25mを超える大水深に10mを超える厚さの捨石マウンドを施工する必要がありますので、「基礎捨石の出来形に配慮した施工方法」、「大水深での潜水作業における安全管理」に関する提案を求めています。捨石を正確に投入する方法や潜水土に対する負担軽減・潜水病対策などの提案において差が生じています。</p> <p>・地盤改良工事と基礎捨石を行う本工事との間にはタイムラグがあります。これらの工事の間には海流等の影響を受けて地盤の変形が生じるため、基礎捨石の直前に盛り上がり土を撤去する事が一番効率的と判断しましたので、別件発注としたものです。</p> <p>・新本牧地区全体の工事工程を考慮し、本工事においては、地盤改良工事の後に別件工事として発注する事が効率的、且つ安価であると判断しています。</p>

意見・質問	説明・回答
<p>【事案2】 一般競争入札方式（政府調達以外・港湾土木工事） 「令和4年度 千葉港千葉中央地区岸壁(-9m) (改良) 築造工事(その2)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加者5者のうち、4者が入札辞退した理由は何か。 ・競争参加資格における同種工事の要件設定として、陸上において、「外径 800 mm以上且つ鋼管長 18m 以上の鋼管杭の打設を施工した工事」の実績を求めているが、これは厳しい条件ではなかったのか。 ・今回、応札者が1者しか残らなかったということで、不調や1者応札を回避するための対策をどのように考えているか。また、今回の撤去工事のように不確定要素が多いと、技術力が発揮しにくいなど、色々なやりづらさが想定できるが、新設工事と組み合わせで競争参加を促すなどの工夫をすると、もっと良い契約が出来るのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札辞退をした4者にヒアリングを行ったところ、3者は別件工事を受注したことにより技術者の配置が困難となったためであり、1者は自社積算と下請予定者からの見積りに乖離があったためと聞いています。 ・同種工事の要件として、具体的な外径や長さの設定は本工事で求める施工規模以下に設定しており、特に厳しいものではなかったと考えています。 ・本工事で撤去を求める施設は非常に古いことから、不確定要素があったことが辞退の原因であったのではないかと考えています。なお、新設工事と組み合わせなどの工夫もあるかと思いますが、今回のような不確定要素がある場合には、事前の調査を可能な限り行うとともに、設計変更の必要があるものについては、変更の対応とすることを、しっかりと事業者に示していくことが重要と考えています。
<p>【事案3】 一般競争入札方式（建設コンサルタント等） 「令和4年度 東京国際空港空港アクセス鉄道建設資材等価格調査」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者応札の理由について把握しているか。また、応札者を増やす手段について、例えば発注時期について検討する等、何か考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・応札者を増やす方法としては、発注時期の見直し等が考えられますが、本件調査については、成果である最新単価を用いて対象工事の入札を行う必要があるため、この発注時期とせざるを得ませんでした。参加資格要件としては、最大限緩和しているところですが、特殊業務というところで参入が見送られているところもあるのではないかと推測しています。今後も引き続き、発注時期を見直す等、可能な限り応札者を増やすための工夫を考えてまいります。

意見・質問	説明・回答
<ul style="list-style-type: none"> ・土砂処分等の費用について、いつも、当局と企業の価格設定の変動差が大きく見受けられる中で、今回の建設事業において、本工事で発生する発生土などの処分費も本調査の対象としているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・処分費については、価格設定が難しいため、調査項目の一つとして対象にしています。
<p>【事案4】 簡易公募型競争入札（建設コンサルタント等） 「令和4年度 鹿島港外港地区利用検討業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討業務の成果物は、なかなか想定しづらいと考えられ、総合評価方式（1：2）で価格評価より技術評価を上に置いていることは一定の妥当性があると考えているが、技術評価そのものについて定期的に見直しはしているか。 ・評価テーマやその評価基準について、どの程度業者へ公開をしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術評価項目の中でも、特に技術提案を求める評価テーマの設定については、案件ごとに業務の特性に合わせるよう、所内で議論した上で決定しております。 ・入札説明書中において、評価基準表として評価テーマとその具体的な背景を補足説明として示すとともに、配点や評価の判断基準等を記載しています。
<p>【事案5】 簡易公募型プロポーザル方式（建設コンサルタント等） 「令和4年度 横浜港新本牧ふ頭地区護岸(南)接続部水理模型実験」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者応募となった理由、また今後の改善策を教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公告資料をダウンロードした者にヒアリングした結果、「要件に合致する技術者はいるが、設定されている工期内にその技術者を配置することが難しい」、「実績はあるが、得意分野ではない」という回答がありました。水理模型実験自体が特殊な業務であり、競争参加の優先順位が低かったのではないかと推測しています。また、改善策につきましては、実験結果の期日を考慮しつつ、ある程度余裕を持たせた工期を設定するなどの対応を考えてまいります。

意見・質問	説明・回答
<p>【事案6】 一般競争入札方式（役務の提供等） 「令和4年度 東京湾中央航路用船(その3)」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 者応札の理由について教えて欲しい。 • 入札参加者を増やすためにできることはあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 入札公告をダウンロードした者が受注者だけだったため、他者へのヒアリングは行っていませんが、業務エリア、業務の実施期間、使用する船舶の規格などから受注者以外は関心を持たなかったのではないかと推測しています。 • 改善の余地としては、航路調査船の修理時期をずらすことができるか、今後、可能性を探っていきたいと考えております。
<p>【まとめ】 本日の審議に関して、特に意見の具申及び勧告等はなし。</p>	

【工事】

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の 数	入札参加 者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
一般競争入札方式	令和4年度 横浜港新本牧地区護岸（防波）南側基礎等工事	港湾土木工事	4	4	R5.1.26	若築・りんかい日産・大本特定建設工事 共同企業体	1,452,000	92.0	
一般競争入札方式	令和4年度 千葉港千葉中央地区岸壁(-9m)(改良)築造工事(その2)	港湾土木工事	5	1	R5.3.13	五洋建設株式会社	385,000	91.3	

【建設コンサルタント等】

入札方式	業務名	業種区分	競争参加資格を 確認した者の 数	入札参加 者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
一般競争入札方式	令和4年度 東京国際空港空港アクセス鉄道建設資材等価格調査	建設コンサル タント等	1	1	R5.1.30	一般財団法人経済調査会	23,320	95.8	
簡易公募型競争入札方式	令和4年度 鹿島港外港地区利用検討業務	建設コンサル タント等	4	4	R4.10.19	パシフィックコンサルタンツ株式会社	7,150	81.3	

【建設コンサルタント等】

入札方式	業務名	業種区分	手続への参加資格 及び業務実施上の 条件を満たす参加 表明書の提出者数	技術提案 書の提出 者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
簡易公募型プロポーザル方式	令和4年度 横浜港新本牧心頭地区護岸(南)接続部水理模型実験	建設コンサル タント等	1	1	R4.12.27	株式会社エコー	33,000	99.8	

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業務名	業種分類	競争参加資格を 確認した者の 数	入札参加 者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
一般競争入札方式	令和4年度 東京湾中央航路用船(その3)	役務の提供等	1	1	R4.12.22	株式会社ポートサービス	6,797	95.8	